

第37回ねんりんピック岐阜大会に参加して

岩手県チーム監督 古澤 元雄

1 はじめに

日本棋院岩手県支部で高齢者が多い中級者講習会の講師を務めている関係で、高齢者の県大会が有るからと誘われて参加したら優勝してしまい、幹事から「ねんりんピック」には行くよね？と聞かれて初めてねんりんピックの予選を兼ねていることを知りました。少し迷いましたが、せっかくだから参加することにしました。全国の人と囲碁の交流ができるなんてめったにない機会ですし、実はメール碁で対局している明神さんや中嶋さんがやはり出場することを知り、会場で会えることも楽しみの一つになったのでした。

2.対戦の組み合わせと結果

対局も楽しみでしたが全国から集まった参加者がかなりの数になる大会の運営はどう裁くのかも興味が有りました。

普通最初は抽選で対局相手を決め2回戦以降は同率同士で抽選をして決めるものですから、参加者の多いこの大会では大変ではないかと思ったのです。

然し、この心配は幸いにも杞憂でした。会場に着いたときはすでに1回戦の対戦相手は決まっていました。考えてみれば主催者の方で勝手に対戦相手を決めてもそれは抽選と同じことになる訳ですね。全く知らない同士を組み合わせていくのですから。

2回戦以降も同様に同率同士を適当に組み合わせれば良いわけで、最終的には同率が数人出来ますが、スイス方式でかなり整理できるわけです。

とはいっても、それぞれの回が終わって次回に入るまでの本部は大変だったろうと推理されます。各試合結果が全部集まってからでない組み合わせは出来ません。何か同率同士を組み合わせる工夫が有ったものと推理しました。

戦績は、個人では2勝2敗で52人中23位、団体戦は5勝7敗で51チーム中35位でした

3.夕食

大会に参加してちょっと残念だったのは、夕食の時間でした。ホテルによって対応は違ったと思いますが、夕食が泊ったところではなく別のホテルだったことです。かなり遠いホテルへバスで移動しての夕食でした。帰りのバス時間まで1時間一寸しか無かったので、落ち着いて歓談が出来なかったのです。

遠くのホテルへ食事に行くくらいなら、夕食は自由行動にしてほしかったと思います。宿泊所周辺の食事処を地図で示して、各県が勝手にその中からよさそうなところを選んで暖簾をくぐれば、ゆっくり歓談が出来たのでは無かったでしょうか。 (原稿受付 2025.10.27)



写真は、岩手県チーム（橘、古澤、外柳（女））